



## あみ は 網を張らないクモはいるの

### クモの仲間の半分は網を張らない

クモの仲間の半分くらいは、網を張りません。網を張らないクモは、いろいろな場所に散らばって、すみ分けをしながら、くらしています。

家の中でよく見かけるのは、大きな目が目立つハエトリグモや、ゴキブリなどをとってくれる、体が大きく足が長いアシダカグモです。

野外では、葉や花の上で獲物をまつハナグモ、木の幹や葉の上などを歩き回って、アリなどをとらえるカニグモの仲間、木や草の葉を折り曲げて巣にするフクログモ、池の近くや水面まで出ていくハシリグモなどがいます。

### ドアを作って、まちぶせするトタテグモ

トタテグモは、地下にあなをほり、入り口に、クモの糸で砂などをつなぎ合わせたふたを作ります。そして、ふたのすき間から獲物がくるのを見張っています。獲物がくると、すばやく巣に引きずりこむのです。家の戸のすき間から、外を見張るのと同じなので、「戸立てグモ」という名がついています。

### 網を張らないクモも、糸を活用する

網を張らないクモも、おしり近くから糸を出します。これらのクモは、歩いたり、よじ登ったりするとき、クモの糸を命づなのようにして使います。トタテグモのように戸を作るのに使ったり、ジグモのように巣を作るのにも使います。たいていのクモが、中に卵を入れて守る「卵のう」を作るときに、糸を使います。

